

令和元年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 教育長祝辞

令和元年 7月18日 (木)
西条市総合文化会館

本日、令和元年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。皆様方には、日頃から本県教育行政の推進に格別の御尽力をいただいております、厚くお礼申し上げます。

また、後ほど、永年にわたり教育の振興に精励された御功績により表彰を受けられます皆様方には、その御栄誉を心からお称え申し上げますとともに、今後とも本県教育の発展に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和という新たな時代を迎え、人口知能やロボット技術、また第5世代移動通信システムなどが取り入れられた、いわゆる「Society 5.0」の社会に向かう中、子どもたち一人一人が自ら考え、予測できない変化に主体的に向き合うことで、変化の激しい社会をたくましく生き抜けるよう、人材育成を行うことが求められています。

また、ご案内のとおり、来年度から新学習指導要領が順次全面実施され、先行実施しております道徳の教科化や、小学校での外国語教育、プログラミング教育の導入などのほか、2020年度から大学入学共通テストが開始されるなど、学校教育の大きな転換期を迎えております。

このような中、本県におきましては、小学校教員を含めた英語指導研修や英語民間検定試験の受験推進によるグローバル人材の育成、ICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型学習の推進、また、市町の皆様の御協力のもと、中学生が5日間の職場体験学習を行う「えひめジョブチャレンジU-15事業」を、今年度からすべての公立中学校で実施するなど、愛媛の将来を担う人材を育成するため、様々な施策を展開しております。

このほか、昨年、本県は西日本豪雨により甚大な被害を受けましたが、自然災害はもとより、今年5月に発生しました、通学途中での通り魔殺傷事件など、様々なケースを想定した学校安全対策を充実するほか、本日、鳴門教育大学の阿形教授に御講演をいただきます、いじめ問題につきましては、地域の方々や大学生を巻き込んだ地域フォーラムの開催や、SNSを活用した相談体制の構築などに取り組むこととしております。

また、教員の長時間勤務が問題となっていることから、5月に、「愛媛県学校における働き方改革推進本部」を設置し、より実効性のある働き方改革を徹底・加速するなど、様々な課題の解決に取り組んでおります。

本日、皆様方が市町相互の連携を強化しながら、知恵と工夫、情報の共有を図り、未来を拓く子どもたちの育成に取り組まれることは非常に有意義なことと存じてお

りますが、県教育委員会といたしましても、「愛顔あふれる愛媛県」を目指し、今後
も様々な機会を通じまして、現場の声を聞きながら「チーム愛媛」として愛媛の教育
の振興に努めて参りたいと考えておりますので、県の取組に御理解、御協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

最後になりますが、愛媛県市町教育委員会連合会の益々の御発展と、御出席の皆様
方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げますとともに、現在当地域で開催中の「え
ひめさんさん物語」への積極的な御協力、御参加、さらには、来る21日の参議院議
員通常選挙には、一人でも多くの県民の方々に投票所に足を運んでいただきますこと
を併せてお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。